

洗足学園音楽大学
ベーシックオーケストラ2021
クリスマスコンサート



2021年 12月19日(日) 13:00開演
(12:30開場)

洗足学園 前田ホール

主催:洗足学園音楽大学・大学院

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。



Greeting

—ごあいさつ—



ベーシックオーケストラは、
本年4月に入学した1年生約100名を、
文字通りベーシックな管弦楽曲を取り上げ、
分奏、合奏授業をオーケストラ教員によって行い、
オーケストラの基本的な知識を学び研究をしております。

今回は本学芸術監督・特別教授 秋山和慶の指揮で
その研究成果を披露させていただきます。

学生もこの日の為に選抜オーディションを受け、
一生懸命努力を積んでまいりました。

一曲一曲精一杯の演奏が続きます。
是非たくさんの激励の拍手をお願いします。

ベーシックオーケストラ 企画運営責任者
渡部 亨(本学教授 フルーツ)



 Program —プログラム—

Richard Wagner (1813-1883): Die Meistersinger von Nürnberg

R.ワーグナー (1813-1883): 「ニュルンブルクのマイスタージンガー」より 第1幕への前奏曲

Ludwig van Beethoven (1770-1827): Symphony no. 5 in C minor, op. 67

L.v.ベートーヴェン(1770-1827): 交響曲第5番 ハ短調「運命」作品67

第1楽章 Allegro con brio

第2楽章 Andante con moto

第3楽章 Allegro

第4楽章 Allegro

—休憩—

Leroy Anderson (1908-1975): Bugler's Holiday, Sleigh Ride

L.アンダーソン(1908-1975): トランペット吹きの日、そりすべり

Johann Strauss II (1825-1899): Vergnugungszug, Polka Schnell Op.281

J.シュトラウス2世(1825-1899): ポルカ・シュネル「観光列車」Op. 281

渡辺俊幸 (1955-): 新幹線変形ロボ「シンカリオン」～メドレー～

渡辺俊幸 (1955-): 新幹線変形ロボ「シンカリオン」～メドレー～

Edward Elgar (1857-1934): Pomp and Circumstance No.1 in D Major, Op.39

E. エルガー (1857-1934): 行進曲「威風堂々」作品39 より 第1番 ニ長調



Program Notes 一曲目解説

「ニュルンブルクのマイスタージンガー」より 第1幕への前奏曲 (R.ワーグナー / 1813-1883)

Die Meistersinger von Nürnberg (Richard Wagner / 1813-1883)

ロマン派歌劇の頂点であり、「楽劇王」の別名でも知られていたドイツの作曲家ヴィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー (1813-1883)の『ニュルンブルクのマイスタージンガーより 第一幕への前奏曲』は16世紀のドイツニュルンブルクに実在したハンス・ザックという人物を中心とした全3幕15場所からなる喜劇の前奏曲である。

ワーグナー自身この前奏曲を「作品の精髓」と呼んでおり劇中の主要動機が明確な形で要約されている。

冒頭は一瞬で15世紀中頃のドイツ中世の風を感じる管弦全体での壮大なコーラルで幕を開けマイスタージンガーの動機が示される。

職匠歌手とも訳される中世南ドイツにおいて、手工業の親方で同時に歌手等として師匠格であるマイスタージンガーの威厳さを感じさせる部分になっている。

その後、フルートやクラリネット等による愛の動機が示される。場面がクローズアップされとても情緒にあふれ情景が鮮明に見えてくる。

そのほかにも「マイスタージンガーの行進の動機」や「情熱の動機」「嘲笑の動機」などいくつかの動機が表されている。

そして、管弦全体で冒頭のコーラルに回帰し壮大に終結し第一幕が幕を開ける。

トロンボーン専攻1年 鶴飼輝

交響曲第5番 ハ短調「運命」作品67 (L.v.ベートーヴェン / 1770-1827)

Symphony no. 5 in C minor, op. 67 (Ludwig van Beethoven / 1770-1827)

ベートーヴェンの交響曲第5番は、あらゆる交響曲の中で最も有名な作品の一つであるといえるだろう。

運命交響曲は4つの楽章を通して「暗から明へ」「苦悩や葛藤を超えて勝利へ」という劇的な楽曲展開が繰り返されている。それ以前の交響曲は各楽章の繋がりが薄く、4つの楽章で1つのテーマを物語るというのは画期的な試みであった。

第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ

人生の苦悩や葛藤を表したかのような重々しい雰囲気楽章全体を包んでいる。誰もが知っている「ジャジャジャジャー」という運命の動機が、1楽章では特に執拗に展開される。

第2楽章 アンダンテ・コン・モート

ヴィオラとチェロが始めに歌い出す第1主題と、クラリネットとファゴットが奏でる第2主題が交互に変奏される。第2主題は運命の動機のリズムを想起する。

第3楽章 アレグロ

不気味な低弦の主題のあとに、ホルンが運命の動機に基づく音型を提示する。作曲家のベルリオーズが「象のダンス」と形容したという激しくも軽快なトリオを挟み、冒頭部に回帰した後、緊張感は果てしなく高まっていき、切れ目なく4楽章に突入する。

第4楽章 アレグロ

「暗から明へ」という楽曲構成を締めくくる、華やかで歓喜に満ちたフィナーレ。

4楽章からはピッコロ、コントラファゴット、トロンボーンが加わる。より深くなる響きにも注目して聴いてもらいたい。

ヴァイオリン専攻1年 小玉みどり

トランペット吹きの日 (L.アンダーソン/1908-1975)

Bugler's Holiday (Leroy Anderson/1908-1975)

「トランペット吹きの日」はアメリカの作曲家、ルロイ・アンダーソン (1908-1975) が1954年に作曲した軽快なナンバーである。原題である「Bugler's Holiday」の「Bugler」は軍隊などで用いられる楽器であるビューグルを吹く人、いわゆる「ラッパ吹き」を意味している。軍隊のラッパ吹きは何か合図をする時にしか楽器を吹けなかったため、休日くらいはのびのびと吹いてほしいという願いから作曲された。曲は、3本のトランペットが細かいパッセージを奏でる、ギャロップ調の陽気な音楽である。

トランペット専攻1年 星野花織

そりすべり (L.アンダーソン/1908-1975)

Sleigh Ride (Leroy Anderson/1908-1975)

1948年に、アメリカ合衆国の作曲家ルロイ・アンダーソンが作曲した管弦楽曲である。アンダーソンは、ハーバード大学で作曲や楽理を、ニューイングランド音楽院でピアノ、コントラバスを学んだ。彼は大衆音楽に影響を受けている。そのため、この曲においても、主題が再現部でジャズ風になっている。また、スコットランド民謡の音階が用いられていることも特徴の一つである。この曲の題名に「そりすべり」、とあるが、具体的にいうと、馬そりすべりである。そのため、さまざまな楽器によって馬の表現がなされている。ウッドブロックは馬が走るひづめの音。ムチは、馬にむちを打つ様子。曲の最後のトランペットは馬の鳴き声。スレイベルが、そりの鈴を表している。

ヴァイオリン専攻1年 鈴木利々果

ポルカ・シュネル「観光列車」Op. 281 (J.シュトラウス2世作曲/1825-1899)

Vergnugungszug, Polka Schnell Op.281 (Johann Strauss II/1825-1899)

この曲はヨハン・シュトラウスの曲の中でも有名な曲である。

様々なモチーフでワルツやポルカを作曲しており、特殊楽器を使用するおもしろい楽曲となっている。当時は蒸気機関車が発明されたばかりの頃で、機関車自体が物珍しさも手伝ってシュトラウスは作曲したのだろうか。曲調も、勢いのあるパワフルな音楽が力強く元気な楽曲である。冒頭の軽い序奏(イントロ)を終えると、汽車が勢いよく走り出すように、ホルンのリズムに乗せてオーケストラが軽快に始まり、ホルンのリズムは「シュポシュポ!」と熱のこもった機関車のようにも聴こえてくる。トランペットのリズムも勇ましく、ピッコロは列車が風を切るようにスピード感を持たせているようなオーケストレーションになっており、途中に響くトロンボーンは警笛の音だろうか。やがてグロッケンがチリーン♪と響くのは駅の賑わいだろうか、明るく楽しい乗客の様子だろうか、更に曲が続くと今度はトレインホイッスルが響く。最後まで勢いのある機関車がどこまでも元気に走り続けるようにしていくと、弦楽器がキリキリ〜!とブレーキを踏むような音を聴かせて賑やかに終わる。

マリンバ専攻1年 松田有平

新幹線変形ロボ「シンカリオン」～メドレー～ (渡辺俊幸/1955-)

新幹線変形ロボ「シンカリオン」～メドレー～ (渡辺俊幸/1955-)

皆さんはこのテレビアニメをご存知だろうか。謎の巨大怪物体から日本の平和と安全を守るため、新幹線超進化研究所によって開発された「新幹線変形ロボシンカリオン」。このアニメの様々なシーン音楽をオーケストラによるメドレーでお送りする。作曲者は、本学、音楽・音響デザインコース客員教授の渡辺俊幸(b.1955)。1曲目はメドレーの初めに相応しいとも言える「チーム超進化研究所」、2曲目はアニメを見ている人なら何度も耳にしている曲「発車」、3曲目は先程までの雰囲気ガラッと変えるような怪しい曲調が印象的である「事件発生」そして、メドレーのラストになる4曲目は、「シンカリオン～三位一体」。最後まで皆さんの耳を決して飽きさせない盛りだくさんのメドレーになっている。アニメ独特のパワフルな音場を最後まで楽しんでお聞きいただきたい。

フルート専攻1年 塩野祐也



行進曲「威風堂々」作品39 より 第1番 二長調 (E. エルガー/1857-1934)

Pomp and Circumstance No.1 in D Major, Op.39 (Edward Elgar/1857-1934)

サー・エドワード・ウィリアム・エルガーは、1857年にイギリス中西部ウスター近郊のブロードヒースで生まれた。経済的に恵まれなかったため正規の音楽教育を受けることができず、ほとんど独学で勉強していたが、シューマン、ワーグナーの作品に特に強く影響を受けたとされている。1899年に「エニグマ変奏曲」がロンドンのセント・ジェームズ・ホールでハンス・リヒターの指揮によって初演されたことによって一躍世の注目を集め、翌1900年にはオラトリオ『ゲロンティアスの夢』が完成、リヒルト・シュトラウスがこの作品を絶賛したことで、その名声はヨーロッパ中に広まった。行進曲「威風堂々(Pomp and Circumstance Military Marches)」第1番は、1901年に作曲され、同年の10月19日にリヴァプールにてアルフレッド・ロードウォルドの指揮で初演された。

特に第1番の中間部の旋律は日本でも有名であり『威風堂々』と言えば第1番あるいはその旋律を指すことが多い。イギリスでは、この旋律は『Land of Hope and Glory (希望と栄光の国)』と題され、第2の国歌として愛唱されている。華やかな始まりと中間部のイギリスの愛国的な旋律を、戴冠式を想像しながら聴いて頂きたい。

ホルン専攻1年 高良 知里

❁ Profile —プロフィール—

秋山 和慶 (指揮)



齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放響、ケルンWDR放響、ベルリン放響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著／アルテスパブリッシング刊)を出版した。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

ベーシックオーケストラ (演奏)



本学には、4年生を中心とした「マスターオーケストラ」、2・3年生を中心とした「レパートリーオーケストラ」、そして1年生の「ベーシックオーケストラ」の3団体でオーケストラが構成されています。

ベーシックオーケストラの授業では指揮・管打楽器指導教員がセッティングからチューニング、音程やアナリゼなどオーケストラに必要なスキルを修得できる様に基礎から指導しております。古典派の名曲を中心にプログラムを構成し一年間授業を行っております。



Performer 一出演者一

Concertmaster & Concertmistress	稲本 雄介	小玉 みどり	小林 彩	鈴木 利々果		
Violin	兼子 萌花	隈元 めいみ	武田 妃那	寺岡 彩菜	マノユ 瑠南	雨川 笑子#
	安藤 美陽#	井上 千恵美#	白井 玲奈#	木村 光輝#	齊藤 直美#	島根 和奏#
	志村 瑠南#	新山 開#	松岡 野乃花#	矢野 聡美#	川田 知子b	鈴木 弘一b
Viola	千葉 みのり	有山 志音#	井上 葵#	内田 和紀#	加藤 星南#	澤田 香萌#
	古川原 裕仁b					
Violoncello	沓掛 雛乃	佐々木 七穂	山田 玲菜	雪江 颯太	佐伯 江梨花#	荒 庸子b
Contrabass	福田 凧佐	平木 晶穂#	吉田 智海#	矢内 陽子b		
Flute & Piccolo	池上 晏珠	打越 清楓	塩野 祐也	下菌 采奈	鈴木 ぴあ乃	瀧本 こころ
	出口 侑奈	中村 愛美	藤井 千尋	末永 愛翔	村松 なごみ	森本 舞
Oboe	網谷 由唯	入谷 栞	岸原 伶奈	橋本 あみか	土屋 愛菜#	三輪 桃子#
Clarinet & Bass Clarinet	有田 春花	石山 穂乃花	宇佐美 碧	薄井 萌々子	大竹 彩音	鈴木 潤
	曾山 舞美	高橋 美乃	松崎 稀菜	山口 真央		
Bassoon & Contra Bassoon	長谷川 舞花	上田 実那#	吉田 南#			
Saxophone	伊藤 有莉愛	寺尾 作蔵	吉田 朋諒			
Horn	植田 香帆	高良 知里	山田 日香流	増永 梨花子#	渡辺 悠紀#	
Trumpet	秋山 凜音	稲田 菜摘	江浦 蓉蓉	太田 和生	小松 美羽	齊藤 雄太
	清水 愛和	高橋 翔	武田 倅奈	野村 日菜乃	福山 桃花	星野 花織
	正木 航	松尾 知樹	宮澤 恵美	森本 優生	谷中 彩乃	吉井 絵理果
	LIN GUANGLUE					
Trombone	鶴飼 輝	遠藤 愛	川上 奏太郎	神田 拓海	近藤 慶一	永野 宏弥
	本間 千尋	松田 真凜	水梨 翔太	森田 堅人	森 秀人#	
Tuba	鈴木 颯	峯永 岳志				
Percussion	相川 拓音	浅井 惇	石井 梨菜	内田 光太郎	大島 一輝	岡崎 颯太
	鏑木 舜裕	古仲 咲希	竹内 夏美	土居 祥大	林 まど子	廣瀬 歌菜
	松田 有平	宮下 真凜	三好 花梨	吉田 創	渡辺 歩紀	
Piano	若佐 太郎 (ピアノコース4年)					
Harp	大隅 レオナ#	熊倉 実里#				
Organ	中澤 未帆#					
司会	榎本 未紗 (声優アニメソングコース4年)			紙谷 果穂 (声優アニメソングコース4年)		

#…演奏補助要員

b…指導教員



Instructor

—指導陣—

企画運営責任者	渡部 亨					
指導教員	松村 秀明	上野 正博	山脇 幸人	沼田 園子	近藤 薫	川田 知子
	鈴木 弘一	古川原 裕仁	安藤 裕子	荒 庸子	藤村 俊介	今野 京
	矢内 陽子	辻 功	山口 卓郎	田淵 哲也	吉村 結実	佐藤 亮一
	近藤 千花子	鎌田 浩志	小林 利彰	中館 壮志	伊藤 寛隆	石井 淳
	石川 晃	吉田 將	鈴木 一志	水谷 上総	久永 重明	小林 祐治
	中山 隆崇	海野 匡代	神代 修	林 辰則	古田 賢司	古田 俊博
	府川 雪野	池上 亘	門脇 賀智志	菅 貴登	次田 心平	渡邊 功
	松本 祐二	山澤 洋之	野本 洋介	幸西 秀彦	井手上 達	中村 祐子
	西川 麻里子	小林 裕子	佐藤 全子	山本 祐ノ介	瀬尾 宗利	
	助手	城野 裕子				
アカデミックコーディネーター	野崎 江里					

